

注意事項

- ・この「奨学金継続願」を**期限まで**に提出しない場合は、**奨学生の資格を失います**。
- ・奨学金の継続を希望しない場合は、直ちに、**辞退の「異動願(届)」**を提出してください。
- ・水色部分は回答欄です。選択肢の項目は、あてはまる記号を記入してください。記入漏れは、不備となりますのでご注意ください。
- ・赤枠の該当箇所6箇所は、下の黄色枠内にある「**あなたの奨学金個人データ**」から**転記してください**(照会番号(※1)、奨学生番号(※2)、氏名(※3)、設問4-1(b)(※4)、設問4-2(7)(※5)、設問9-3(※6))。

奨学金継続願

独立行政法人 日本学生支援機構 理事長 殿

記入日		年		月		日
-----	--	---	--	---	--	---

下記のとおり奨学金の継続貸与をお願いします。

奨学生番号	(※2)	氏名	(※3)
現在籍学校名(日本語又は英語) ※編入学をした場合には、手続きが必要です			
学部・学科／研究科・専攻			
国内連絡者現住所 ア. 変更なし イ. 変更あり(「住所変更届」もご提出ください)			
返還の義務	設問 1. 奨学金制度は、意欲と能力のある皆さんが経済的に自立し、自らの意思と責任により学生生活を送れるよう支援するものです。また、貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、直ちに後輩奨学生の奨学金として循環運用される仕組みとなっており、返還金が確実に返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をきたすこととなります。奨学生ひとりひとりがこのような制度の仕組みを理解し、責任を持って返還をすることが重要です。 あなたは返還の義務を自覚していますか。 ア. はい イ. いいえ(奨学金の継続はできません)		
場合の処置 学業不振の場合	設問 2. 以下のいずれかに該当する場合は、奨学金の交付について「廃止」(又は「停止」)の処置がとられます。 ・卒業延期が確定した(又は卒業延期の可能性が極めて高い)場合 ・当年度の修得単位(科目)数が皆無の(又は極めて少ない)場合 あなたは学業不振の場合の処置について理解していますか。 ア. はい イ. いいえ(奨学金の継続はできません)		
経済状況	設問 3. 学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して変わりましたか。 ア. 好転した イ. ほぼ変わらない ウ. 悪くなった		

経済状況	設問 4-1. 【あなたの収入】あなたの前年度 12 月から今年度 11 月の収入に関する金額を記入してください。 (2023 年 1 月以降に奨学金の貸与を開始した場合は、貸与開始年月から 11 月の収入金額を記入してください。)		※1 万円未満切り捨て
	(a) 家庭からの給付 (両親等からの仕送り、家庭が支払った授業料・家賃含む)	<input type="text"/>	万円
	(b) 日本学生支援機構の奨学金 (貸与額通知書に記載の振込額の合計)	<input style="border: 2px solid red;" type="text"/>	万円 (※4) 転記してください
	(c) 日本学生支援機構の給付奨学金、日本学生支援機構以外の奨学金	<input type="text"/>	万円
	(d) アルバイト等収入	<input type="text"/>	万円
	(e) 配偶者の定職収入 (大学院在籍者で定職収入のある配偶者がいる場合のみ記入)	<input type="text"/>	万円
	(f) その他 (貯蓄等を取崩した額や臨時収入等)	<input type="text"/>	万円
	収入合計 (A) : (a) + (b) + (c) + (d) + (e) + (f)	<input type="text"/>	万円
	設問 4-2. 【あなたの支出】あなたの前年度 12 月から今年度 11 月の支出に関する金額を記入してください。 (2023 年 1 月以降に奨学金の貸与を開始した場合は、貸与開始年月から 11 月の支出金額を記入してください。)		※1 万円未満切り捨て
	(1) 学費 (授業料・施設費などの学校納付金等を含む。)	<input type="text"/>	万円
(2) 修学費 (教科書、図書費、文具購入費、課外活動費、通学費等を含む。)	<input type="text"/>	万円	
(3) 家賃 (共益費等を含む。敷金礼金等の特別支出を除く。)	<input type="text"/>	万円	
(4) 食費	<input type="text"/>	万円	
(5) 光熱水料通信費 (携帯電話等の通信費を含む。)	<input type="text"/>	万円	
(6) その他 (医療費、娯楽・嗜好費等)	<input type="text"/>	万円	
(7) 機関保証制度の保証料	<input style="border: 2px solid red;" type="text"/>	万円 (※5) 転記してください	
支出合計 (B) : (1) + (2) + (3) + (4) + (5) + (6) + (7)	<input type="text"/>	万円	
収支差 (≥0) : 収入合計 (A) - 支出合計 (B)	<input type="text"/>	万円	
設問 5. あなたの経済状況を具体的に記入してください。			
学生生活の状況	設問 6. この1年間の学生生活の状況などを記入してください。 例：課外における活動の参加、 ボランティア等の社会参加		
学修の状況	設問 7. この1年間の授業出席状況について、あてはまるものを選択してください。 ア. 全部もしくはだいたい出席した イ. ア以外(下記にその理由をご記入ください)		<input type="text"/>
	イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。		
	[理由]		

学修の状況	設問 8. この1年間の学修に対する取組みの姿勢について、あてはまるものを選択してください。
	ア. 熱心に取組んだ イ. 取組みが不十分だった(下記にその理由をご記入ください)
	イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。 〔理由〕

※ 2023年11月1日以降に取得した「在籍証明書」をご用意ください

卒業予定期	設問 9-1. 「在籍証明書」の卒業予定期について、あてはまるものを選択してください。			
	ア. 「在籍証明書」に卒業予定年月の記載あり			
	イ. 「在籍証明書」に卒業予定年月の記載なし、又は卒業予定学期(セメスター)の記載あり			
設問 9-2. 卒業予定年月を記入してください。				
9-1がアの場合 → 「在籍証明書」に記載の卒業予定年月を記入してください				
イの場合 → 学校担当者と相談のうえ決定した卒業予定年月(最終授業/試験が行われる年月)を記入してください				
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 150px;">卒業予定年月</td> <td style="width: 40px;">年</td> <td style="width: 40px;">月</td> </tr> </table>	卒業予定年月	年	月
卒業予定年月	年	月		

設問 9-3. 上記の卒業予定年月とあなたの奨学金貸与終期の一致状況について確認してください。(※6) 転記してください

あなたの奨学金貸与終期	年	月
-------------	---	---

卒業予定年月と奨学金貸与終期が一致する → 次のページ(設問 10.)へ

卒業予定年月と奨学金貸与終期が一致しない → 理由について、下記①～⑩から選択してください。

<理由選択肢>

- ① 在籍証明書には卒業式の月又はビザの在留期限が記載されている(実際より長く記載されている)が、最終授業/試験はそれより早く行われるため(当初の卒業予定年月のまま変更なし)。
 - ② 当初の予定(奨学金貸与終期)より早く卒業することになったため(例:当初の予定よりも早く、規定の単位数を取得することができた等)。
 - ③ 学校を変った(編入学した)ことにより、卒業期が早まった(又は延びた)ため。
 - ④ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定したスケジュールで授業を履修できず、卒業期が延びたため。
 - ⑤ 先に提出した学校発行の在籍証明書の卒業予定年月に誤りがあり、卒業期が早まった(又は延びた)ため。
 - ⑥ 学校内で専攻を変更(転学部・転学科)したことにより、卒業期が早まった(又は延びた)ため。
 - ⑦ 学校都合のカリキュラム変更により、卒業期が延びたため。
- ③～⑦ は、異動手続きが必要です。「奨学金継続の手続きについて(重要)」の4ページを参照してください。
- ⑧ 成績不振により修得単位数が極めて少ない(又は皆無の)学期があり、卒業期が延びたため。
 - ⑨ 自己都合により履修科目数が極めて少ない(又は皆無の)学期があり、卒業期が延びたため。
 - ⑩ 成績が進級の基準を満たさず、卒業期が延びたため。
 - ⑪ 過去に機構に手続きをしていない休学した期間があり、卒業期が延びたため。(※手続き済の方は、記入しないでください)

→未手続の方は、休学した期間をご記入してください。

年	月	～	年	月
---	---	---	---	---

アンケート	設問 10. 奨学事業実施上の参考とするため、次のアンケートにお答えください。 なお、このアンケートは、奨学金継続願の内容に影響を及ぼすものではありません。	
	設問 10-1. 奨学金が受けられなかった場合についてお答えください。 ア. 修学が困難(不可能)となる。 イ. 修学は可能だが、自分が学びたい分野や学校での修学は困難となる。 ウ. 修学は可能だが、アルバイト等が不可欠で、勉学に支障が出る。	<input type="text"/>
	設問 10-2. 奨学金の貸与を受けたことによって、勉学に励む時間が変化したかどうかお答えください。 ア. 増加した イ. やや増加した ウ. あまり変わらなかった	<input type="text"/>
	設問 10-3. 現在、貸与を受けている月額についてお答えください。 ア. 適切である イ. 少ない ウ. 多い	<input type="text"/>

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

提出期限

2024年1月31日(水) 必着

奨学金の継続を希望する場合は、期限までにインターネットまたは郵送のいずれかの方法で以下の4点を提出してください。期限までに提出しない場合は、**奨学生の資格を失います**。

- ①「奨学金継続願」(機構ホームページからダウンロードすることもできます。)
- ②「在籍証明書」 ※2023年11月1日以降に発行されたもの
- ③「成績証明書」 ※トータル1年間分の成績
- ④「アカデミックカレンダー(学事暦)」